

MailBox

メールボックス

経済同友会出向者からの近況報告 #3



From : 原 洋一

内閣官房 情報通信技術 (IT) 総合戦略室
参事官補佐

To : 経済同友会

Subject : 「内閣官房 IT総合戦略室」への出向と得たもの

ヤマト運輸の情報システム部門で業務を行っていた私が、「内閣官房 IT総合戦略室」に出向することになり、正直、私に務まるのかとビクビクしながら門を叩いてから1年5カ月が経過しました。

内閣官房という組織は内閣の重要政策の企画立案・総合調整に関する事務(プロジェクト)ごとに担当室が設置され、各省庁や民間企業の出向者で構成されています。私が所属するIT総合戦略室は、一言でいうと国の「IT戦略」を決定する機関です。

今はITがかかわらないと何事も成立しませんので、守備範囲は非常に多岐にわたっています。当室では電子行政、ITS(高度道路交通システム)、医療、農業、マイナンバー、防災、オープンデータ、シェアリング・エコノミー等々、分野ごとに班を構成し、新たな政策の企画を立案しつつ、関係省庁との横断的な取り組みのPDCA推進、政府のIT関連施策の予算管理なども担当しています。私はこれまでITS、法人番号、防災、人材育成などに関する業務を行い、現在はIT戦略の策定全般を担当しています。主だったところを少し紹介すると、ITS・自動運転に関する関係省庁の施策を包含した国家戦略文書の位置付けである「官民ITS構想・ロードマップ」の改定、政府が保有する許認可や調達、補助金交付に関する情報を一括で検索・閲覧できる「法人インフォメーション」を経済産業省と協力して、本年1月の運用開始まで担当しました。

このような業務を通じて私が得たものがいくつかあります。まず、知識面では、業務の中に国会対応や国会議員へのレクチャーなどがあり、政治や政策の決まり方に触れることができ、IT政策に携わる中で物流以外の分野も含めたテクノロジーをより身近に感じるようになりました。次に技能面では、新たな政策案は白

地に描いていくことが多く、関係者との調整の際はロジカルに考え、かつ、文言の一語一句にこだわるようになりました。また、精神面では、ハードな環境でも自分の仕事がある程度通用したことで「個」としての自信がついたこと、その一方で本当に優秀な人が周囲にはたくさんいて、自分はまだまだ半人前でもっとハングリー精神を持つべきだと気付かされたことです。また、世のため人のためという意識がこれまで以上に強くなった気がしています。

そしてなんといっても一番は人脈で、これこそ最大の財産だと思っています。特に民間企業の出向者たちとは役所での作法も分からぬ中、深夜まで助け合った「戦友」のような独特な一体感があります。各企業とも20代後半から40代前半の「これからの人材」が出向してきており、お互い出向元に戻っても業界・分野を超えて気軽に相談ができる人脈が構築できたと思っています。今後も業務を通じてさまざまな分野の方に出会い、人脈を広く深くしていきたいですし、ここでしかできない経験を自ら進んで多く積むことで、より成長していきたいと考えています。

最後に、昨年の夏から個人的な働き方改革として「朝活」を習慣にしています。早起きをしてジムで好きな音楽に集中して体を動かすことで眠っている体が一気に目覚め、朝から爽快な気分で業務に臨むことができています。



ITS班で自動走行バス試験の見学



朝活でお世話になっているインストラクターさんと